

2026 年 9 月 15 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

**GMO-PG、国内初、EC・オンラインサービス向けに
複数の共通ポイントサービスの契約・システム接続・精算を一元化する
『ポイント決済サービス』を「PG マルチペイメントサービス」にて提供開始
～第一弾として、V ポイント、Ponta ポイント、PayPay ポイントに対応。
共通ポイントサービス導入を容易に～**

GMO インターネットグループの GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、総合オンライン決済サービス「PG マルチペイメントサービス」のオプションサービスとして、複数の共通ポイントサービスとの契約^(※1) からシステム接続、精算業務までを一元化する『ポイント決済サービス』の提供を 2026 年 9 月 15 日（火）より開始します。EC・オンラインサービス事業者向けに、複数の共通ポイントサービスについて、これらを一元化して提供するのは GMO-PG が国内で初めてとなります^(※2)。

『ポイント決済サービス』は、V ポイント^(※3)、Ponta ポイント、PayPay ポイントに対応します。対応する共通ポイントサービスは今後も順次拡大予定です。導入事業者は、GMO-PG との 1 契約・1 接続により、対応する複数の共通ポイントサービスを導入することが可能になります。導入事業者の導入・運用負荷を軽減するとともに、生活者のポイントサービスの利用機会をオンライン上でも広げていきます。

(※1) ポイントサービス事業者と GMO-PG、GMO-PG と導入事業者がそれぞれ契約し、ポイントサービス事業者と導入事業者の間に直接の契約関係はありません。ご利用には GMO-PG およびポイントサービス事業者における審査がございます

(※2) GMO-PG 調べ、2026 年 9 月 15 日時点

(※3) V ポイントは 2026 年秋頃より提供開始予定です



【『ポイント決済サービス』開始の背景】

国内 BtoC-EC 市場は 2024 年に 26.1 兆円（前年比 5.1%増）^(※4) へと拡大を続ける一方、国内ポイントサービス市場も 2024 年度に約 2.8 兆円（前年度比 5.9%増、ポイント発行額ベース）と推計され、2029 年度

には、約 3.4 兆円まで拡大すると予測されています^(※5)。とりわけポイントサービス事業者が提供する代表的な共通ポイントサービスは、それぞれ異なる利用者層や生活シーンを背景に公表会員数・有効 ID 数が 1 億人を超えるものもあり^(※6)、ポイントサービスは生活者の購買行動に広く浸透しているといえます。

このような背景から、EC・オンラインサービス事業者にとって共通ポイントサービスへの対応は、自社サービス外の大規模なポイント会員基盤との接点を生み、新規顧客の獲得や購買単価の向上、継続利用の促進につながる重要な施策となっています。

その一方で、従来、EC・オンラインサービス事業者が共通ポイントサービスを導入するには、ポイントサービス事業者ごとの個別契約に加え、各社で異なる仕様・インフラ要件・認可フローに応じたシステム開発や、精算・運用対応が必要となる場合があります。また、サービスによっては専用インフラの準備やセキュリティ要件への対応が求められるケースもあり、EC・オンラインサービス事業者に導入・運用の両面で負荷が生じていました。

【『ポイント決済サービス』の概要】

GMO-PG はこれまで「決済代行事業者（PSP）」として、多様な決済手段を単一接続で EC・オンラインサービス事業者とつなぐ決済基盤を提供してきました。今回、その知見を活かし、「PG マルチペイメントサービス」のオプションサービスとして、複数の共通ポイントサービスの導入に必要な契約・システム接続・精算を一元化する『ポイント決済サービス』の提供を開始します。

導入事業者は、GMO-PG との 1 契約・1 接続により、V ポイント^(※3)、Ponta ポイント、PayPay ポイントとの連携が可能となり、のべ 3.5 億人超^(※7)の会員・ユーザー基盤にアプローチすることができます。対応する共通ポイントサービスは、今後順次拡大予定です。

本サービスのご利用には「PG マルチペイメントサービス」の契約が必要です。クレジットカード決済などの決済機能を導入せず、『ポイント決済サービス』のみをご利用いただくことも可能です。

■新規顧客の獲得や購買単価の向上、継続利用の促進が期待

導入事業者は、自社のサービス特性や顧客属性に合わせ、提供する共通ポイントサービスを 1 つから複数まで選択できます。導入後は、購入金額に応じてエンドユーザーへポイントを付与できるほか、エンドユーザーは決済時に保有する共通ポイントを支払いに利用できます^(※8)。複数の共通ポイントサービスを提供する場合には、エンドユーザーは異なる共通ポイントを組み合わせる支払いに利用することも可能です。

これにより、導入事業者は、共通ポイントサービスの会員基盤との接点を広げ、新規顧客の獲得や購買単価の向上、継続利用の促進といった効果が期待できます。

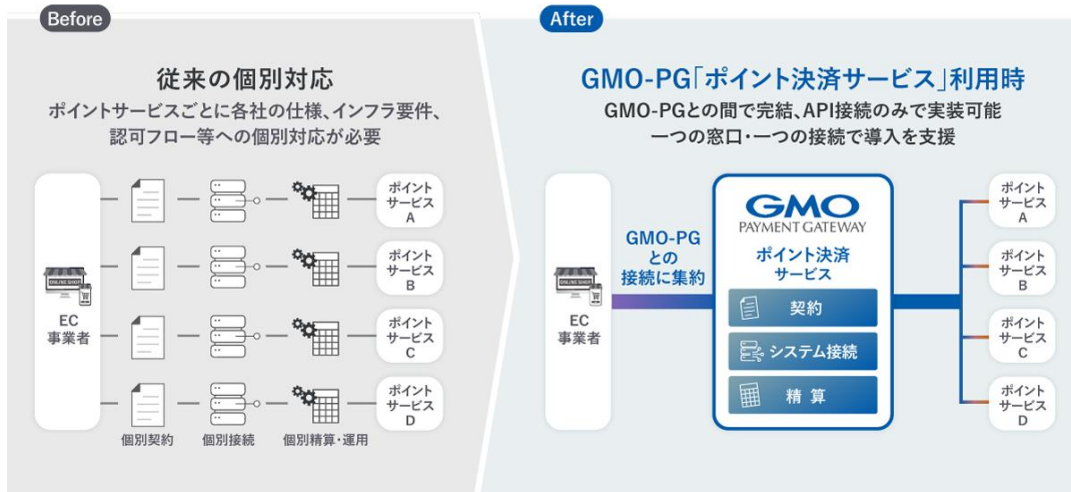
■実店舗と EC をつなぐ、共通ポイント活用の OMO 施策に活用

実店舗ですでに共通ポイントサービスを導入している事業者は、同じポイント施策を EC にも展開することで、店舗と EC を横断した顧客接点の拡大や、一貫した購買体験の提供といった OMO（Online Merges with Offline）施策にも活用できます。

■単一 API で複数の共通ポイントサービス導入を容易に

『ポイント決済サービス』では、GMO-PG が各共通ポイントサービスとの接続を集約し、EC・オンラインサービス事業者には単一の API で提供します。これにより、導入事業者は専用インフラや認証取得の準備が原則不要となり、個別接続に伴う開発・保守コストや運用工数を抑え、複数の共通ポイントサービスをスピーディーに導入できます。

複数の共通ポイントサービス導入に伴う負荷を軽減



GMO-PG は今後も、決済を起点としたサービスの継続的な拡充を通じて、EC・オンラインサービス事業者が多様な付加価値機能をシームレスに活用できる環境を整え、事業成長を力強く後押しします。同時に、生活者がオンライン上でより便利で豊かな購買体験を享受できる機会を広げ、日本のオンライン決済市場の持続的な成長と発展に貢献してまいります。

- (※4) 経済産業省「令和6年度電子商取引に関する市場調査の結果を取りまとめました」（2025年8月26日発表）URL：<https://www.meti.go.jp/press/2025/08/20250826005/20250826005.html>
- (※5) 特定の企業・団体や企業グループが提供するサービスや商品の購入等に対して発行されるポイントやマイレージなどを対象とし、市場規模は民間企業によるポイント発行額で算出。出典：株式会社矢野経済研究所「ポイントサービス市場に関する調査（2025年）」（2025年12月12日発表）
- (※6) 代表的なポイントサービス事業者の公表資料に基づく。各社で会員・ユーザーの定義および集計時点は異なります
- (※7) PayPayの登録ユーザー数7,500万人以上（2026年8月9日時点）、Ponta会員数1億2,615万ID（2026年3月末時点）、Vポイントのユーザー数1.5億ID以上（2026年3月末時点）を単純合算したもの。各サービスで会員・ユーザーの定義および集計時点が異なり、同一人物によるサービス内およびサービス間の重複を含むため、実人数を示すものではありません
- (※8) PayPayポイントは付与のみに対応します。PayPayポイントを支払いに利用する場合はPayPay決済での利用となり、『ポイント決済サービス』のポイント利用機能の対象外です

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DXなどを支援する決済を起点としたサービスを提供するPSP（Payment Service Provider/決済サービスプロバイダー）です。年間決済処理金額は23兆円を超えており、オンライン総合決済サービスはEC事業者やNHK・国税庁等の公的機関など15万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL（Buy Now Pay Later）、金融機関・事業会社へのBaaS支援、海外の先端FinTech企業への戦略的投融資、AI活用を前提とした次世代決済プラットフォームの構築など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。（2026年6月末時点、連結数値）

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略統括本部 広報部
TEL：03-3464-0182
お問い合わせ：
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
インダストリーソリューション本部 第1営業統括部
TEL：03-3464-2323
お問い合わせ：
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=790>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 新野

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2026 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.